

高品質のプレス金型を提供し、 高効率生産を提案

企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



家電向けの順送金型で生産効率の高度化に貢献した実績を持つ

業務内容 家電、自動車向けの 金型を製造

「高松金属」は家電および自動車関連部品のプレス金型の製造を行っている。大手家電メーカーの洗濯機や乾燥機部品を製造するための金型を直接請け負い、自動車部品ではティア3（1次サプライヤー）からティア3の部品メーカーの注文を受け、シート関連部品やブラケット部品の金型を扱っている。

こうした業界向けに複数工程を自動で加工できる順送型やトランスファー型の金型を中心に製造。ロボットアームや自動搬送用シリンダー、各種センサーとコントローラーを組み合わせた複合金型にも対応している。

強み 培ったノウハウと技術を 生かした提案力

長年最終メーカーとの直接取引から培った技術やノウハウを強みとする。メーカーとの取引で、製品の設計段階から打ち合わせに参加。量産を考慮した部品形状を検討し、製品化、生産する金型を作ってきた。高松勝美社長の長男である高松隆氏は「最終メーカーと連携して金型を製作できる環境は何事にもチャレンジしやすい」と話す。

また、テストプレス機も保有。完成した金型の良否を確認し改良や修正を重ねてきたことも同社のノウハウにつながっている。こうした豊富な経験を現在の金型製作に生かし、安定した量産に貢献する高品質の金型を製作している。

独技術 付加価値の高い金型で 安定した生産に貢献

同社は、金型から生産される部品の品質を

保ちつつ、安定して長期間生産できることを最重視し、付加価値の高い金型を製作してきた。過去には、家電メーカー向けに、製品の組立まで行う全自動の金型生産システムを構築し、大幅な量産コスト削減に貢献した実績も持つ。

高松氏は「現在でも全自動金型システムの動画を新規の営業先で見せることで技術力のアピールに役立っている」と話す。量産にあたっての合理化や工程の削減の提案に加え、新規の開発案件にも対応できる体制を整えている。

今後の展望 自動車向けの比率を高め、 さらなる成長へ

現在、比較的受注量の少ない自動車メーカーの関連会社との取引を増やし、自動車部品製造用金型の割合を増やしていくことを狙う。自動車業界の技術革新は日々進められ、使用される素材も高張力鋼板（ハイテン鋼）から超ハイテン鋼へとさらに薄く強いものの採用が進む。

同社は今後は自動車業界のこうした流れに乗るために、超ハイテン鋼やその他の新素材に関する技術やノウハウを蓄積していく方針だ。従業員の採用も進めながら、会社全体の力を高めることを目指していく。



上記の金型で生産した製品



金型製品のレイアウト

当社の歴史



昭和54年3月に大阪府八尾市にて創業し、主に白物家電部品、建築部品、事務用品の生産用プレス金型製作を行っていました。平成9年3月に株式会社を設立。平成15年からは自動車用プレス金型の製作も手がけています。

代表 高松 隆さん

<http://www1.kcn.ne.jp/~co-tak/>

主な事業内容

白物家電、自動車部品など
生産用プレス金型の製作

主な取引先(納入先)

家電メーカー、
家電部品メーカー、
自動車部品メーカー

- 住所 〒581-0852
八尾市
西高安町1-74-2
- TEL 072-997-4697
- FAX 072-997-8562
- 創業 昭和54年3月
- 設立 平成9年3月
- 資本金 1,200万円
- 従業員 4名